

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	興亜エレクトロニクス株式会社					
代表者名	氏名	仲藤 恭久	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県下伊那郡阿南町西条733					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	抵抗器の製造・開発・設計					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2454	2404	2531	2525	2341
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	5101	4999	5254	5270	4859
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	17		16	16	14
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	39				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

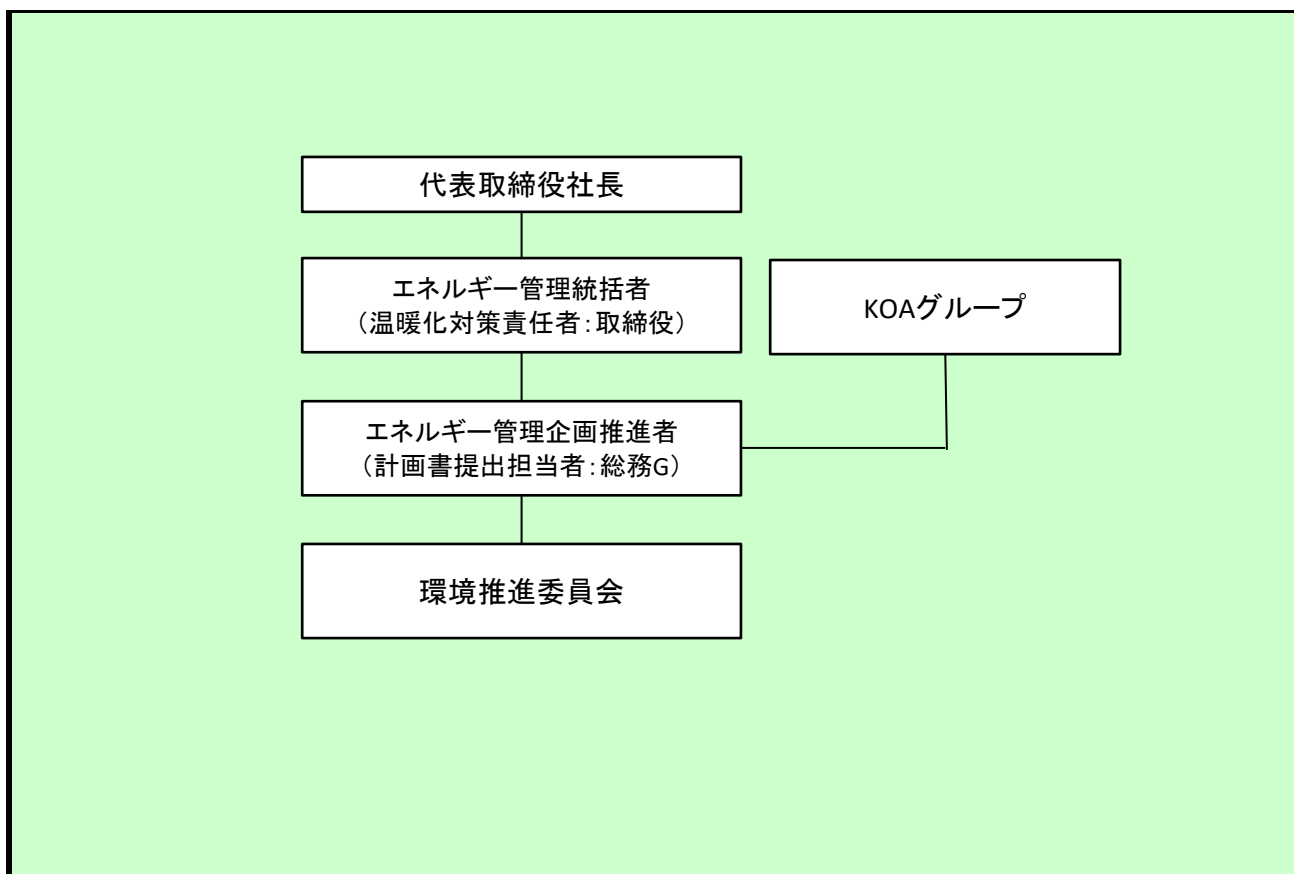
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：興亜エレクトロニクス株式会社 担当：総務グループ TEL：0260-22-2261 時間：8:20～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

使用エネルギーの原油換算原単位を2020年に2012年度比14%低減

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・エネルギー改善委員会  
(KOAGエネルギー担当者を参集し、省エネ活動等についての議論及びパトロール等を2ヶ月に1回程度実施)
- ・環境推進委員会  
(興亜エレクトロニクス6工場の担当者を参集し、エネルギー削減等についての議論を2ヶ月に1回程度実施)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,101	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	2,534.00	単位	百万個	
28年度	調整後排出量	5,063	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2.01	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	
目標年度	目標排出量	4,999	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	1.97	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	1.99	%	目標削減率	2.03	%		
目標設定に関する説明	基準年の▲2%にて設定							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,254	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	2,604.38	単位	百万個	
	調整後排出量	5,205	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.02	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(3.00)	%	削減率	(0.50)	%		
排出量等の増減理由	生産数量が増加したため							
第二年度	排出量	5,270	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	2,598.38	単位	百万個	
	調整後排出量	5,228	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.03	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(3.32)	%	削減率	(1.00)	%		
排出量等の増減理由	第1年度と比較し生産数量の増加。 エアコンなどの増設により排出量の増加。							
第三年度	排出量	4,859	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	2,312.24	単位	百万個	
	調整後排出量	4,812	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.10	t-CO <sub>2</sub> /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	4.74	%	削減率	(4.48)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	新型コロナウイルスの影響により、生産数量が大幅に減少した。 排出量についても減少しているものの、各インフラ・設備の固定電力もあるため、原単位としても悪化している。							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	39	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752 照明のLED化 (新野工場)	29年	4	29年	4
2	エネ起	360705 エアー漏気調査、改修 (全6工場)	29年	5	29年	5
3	エネ起	360799 コンプレッサーを高効率機器へ 入れ替え(泰阜工場、千代工場)	30年	5	30年	15
4	エネ起	350651 受電装置のキュービクル化 (南信濃工場)	30年	3	31年	3
5	エネ起	360705 エアー漏気調査、改修 (全6工場)	30年	5	30年	5
6	エネ起	360799コンプレッサーを高効率機器へ入 れ替え(新野工場、早稲田工場)	31年	5		
7	エネ起	380752 照明のLED化 (泰阜工場、南信濃工場)	31年	8		
8	エネ起	360705 エアー漏気調査、改修 (全6工場)	31年	5	31年	5
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	38		49	42	47
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0		0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	0		0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	6	5,101	6	5,254	6	5,270	6	4,859
合計	6	5,101	6	5,254	6	5,270	6	4,859

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	17	16	16	14
合計	17	16	16	14
自動車総数	17	16	16	14
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし (マイカー通勤率96%~98% 数名が徒歩、自転車で通勤している。)
公共交通機関の利用促進	なし (山間地域のため公共交通機関の整備されていない)
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	工場間を定期便で輸送している

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001 環境マネジメントシステム	2001年3月9日
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	全部門にて廃棄物の削減に向けた取り組みの実施
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>全部門にて廃棄物の削減に向けた取り組みの実施</li> <li>小型化等に繋がる製品の開発</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>全部門にて廃棄物の削減に向けた取り組みの実施</li> <li>小型化等に繋がる製品の開発</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>全部門にて廃棄物の削減に向けた取り組みの実施</li> <li>小型化等に繋がる製品の開発</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取り組み	中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金にて2工場を照明のLED化を実施	57.76
その他		